

シンポジウム

「震災資料・学校資料をどのように 保全し活用するか」

主催 新潟大学災害・復興科学研究所危機管理・災害復興分野

共催 新潟大学人文学部地域文化連携センター、新潟歴史資料救済ネットワーク、新潟史学会

会場 新潟大学総合教育研究棟 D 棟 1 階大会議室

日時 2013 年 12 月 8 日(日)13:00~17:30 (受付開始 12:30)

報告①震災資料 ▼

板垣貴志 (神戸大学)

現代社会と災害アーカイブ

ー求められていること、できることー

吉野高光 (福島県双葉町教育委員会)・白井哲哉 (筑波大学)

双葉町役場が保有する東日本大震災関係資料の保
全・整理作業とその課題

田中洋史・田中祐子 (長岡市立中央図書館文書資料室)

新潟県長岡市における東日本大震災避難所史料の整
理と研究ー長岡ロングライフセンター福祉避難所を中心にー

報告②学校資料 ▼

大平 聡 (宮城学院女子大学)

学校資料の保全と活用ーその実際と課題ー

松本洋幸 (横浜市史資料室)

横浜の関東大震災と小学校ー応急対応と学校資料についてー

田中大輔 (山形資料ネット)

宮城県農業高校資料の価値と保存

ー山形ネットの資料救済活動を通じてー

報告1
震災資料
13:00~14:20

報告2
学校資料
14:40~15:40

パネルディス
カッション
16:00~17:30

どなたでも参加いただけます
(申込み不要)

問い合わせ先

矢田俊文(新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2-8050 新潟大学人文学部

Tel:025-262-6542 Mail:yata@human.niigata-u.ac.jp